

教育概論Ⅱ(中高)－8

担当：鵜殿篤

<http://meganeeculture.boon.jp/2019/09/19/gairon2/>



▼語学・心カ・教福・服美・表現 11/23 / 栄養・環教 11/19

■事前意識調査



・あなたは「ゆとり教育」に対してどのような印象を持っていますか？

- (1) ゆとり世代とは何歳から何歳までですか？
- (2) ゆとり教育はいいものですか、悪いものですか？

■今回の見通し

- ・ゆとり教育の論理と「本当のねらい」を理解しましょう。
 - (1) 授業時間削減の本当のねらいとは？→市場化による個性伸張
 - (2) 学校選択制の本当のねらいとは？→市場化による個性伸張
- ・構造改革特区のねらいを理解しましょう。→市場化による個性伸張

1998年の学習指導要領改訂

- ・「生きる力」の育成。教育内容の厳選、「総合的な学習の時間」の新設。
- ・世間一般が言ういわゆる「ゆとり教育」は、この時期の教育を指します。学校週5日制＝1995年から月2回、2002年から完全実施されます。
- ・学校週5日制のめざすものは…

学校週5日制は、学校、家庭、地域社会の役割を明確にし、それぞれが協力して豊かな社会体験や自然体験などの様々な活動の機会を子どもたちに提供し、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性などの「生きる力」をはぐくむことをねらいとしています。子どもたちの「生きる力」をはぐくむためには、豊かな体験が不可欠です。自然体験などが豊富な子どもほど、道徳観や正義感が身についているという調査結果も出ています。

- ・授業時間削減＝公的部門の割合を減らし、市場に委ねる割合を増やすことです。公的な学校の時間を削減した分、私的に自由に使える時間が増えました。

聖域なき構造改革

- * 高校多様化：1990年代～。中高一貫校。総合学科。単位制高等学校。
- * 小泉純一郎：構造改革特区(2002年)。
 - ・学習指導要領によらない多様なカリキュラム編成(構造改革特区研究開発学校制度)。
 - ・株式会社による学校設置の容認。
 - ・不登校児童生徒等の教育を行う NPO 法人で一定の実績等を有するものの学校設置の容認。→教育機会確保法(2017年)

- ・大学設置基準の緩和（校地面積，運動場設置，空地確保の弾力化）。
 - ・インターネットを利用した教育を行う大学・大学院についての各種施設基準の弾力化。
 - ・「公私協力学校」の設置。
- 小中一貫、9年間を4・3・2に区切って教育課程を実施。
- 小学校1年生から英語の授業を実施。
- 小中高12年一貫教育で、授業を全部英語で行う。（構造改革特区第1号）

学校選択制

- ・学区制を廃止して学校選択制に転換しようとしています。学校選択制の導入によって個性が伸張り、全体的にレベルアップします。
 - ・たとえば、いじめはどうしたらなくなるでしょうか？ 大学の授業がつまらないとしたら？
- バウチャー制度。私立学校も含めて競争原理に巻き込みます。
- 学校民営化。すべてを競争原理に委ねます。
- ・学校機能の民間委託＝学校週五日制など授業時間削減による民間活用。
- ※ゆとり教育の本質とは、「公・官／私・民」の配分変化(私・民の重視)です。

■今回身につける基本的知識

- ・「ゆとり」とは何かを理解するために、『学習指導要領』の変遷を踏まえましょう。
 - ・『学習指導要領』の内容は、ほぼ10年ごとに改訂されています。それぞれ時代背景が内容に反映しています。
- ※ゆとり→詰め込み→ゆとり→詰め込み？という「波」として把握すると分かりやすいでしょう。
- ※細かい年号を覚える必要は特になく、40年代→50年代→60年代→70年代→80年代→90年代→00年代→10年代と、大括りに理解しましょう。
- ※『学習指導要領解説 総則編』149-159頁を参照してください。

■今回の「週刊教育課程」

- (1)あなたの学校では、生徒の「個性」を育むためにどのような取り組みを行ないますか？
- (2)あなたの学校自体の「個性」はなんですか？
- (3)あなたの学校は構造改革特区に認定されていますか？
- (4)構造改革特区に認定されている場合、どのような特徴がありますか？(任意)



■復習と予習

- ・いわゆる「ゆとり教育」に関して、実際には市場化の論理が貫徹していたことを確認しよう。
- ・学習指導要領改訂の背景について押さえておこう。
- ・民営化のデメリットについて考えておこう。